

平成29(2017)年度博士課程入学試験(冬季募集) 二次試験(口述試験)受験者心得

東京大学大学院学際情報学府

1. 二次試験(口述試験)日程

ア. 受験者のうち本学府修了見込みの者

平成29(2017)年2月2日(木)又は2月3日(金)

イ. 上記ア. 以外の者 平成29(2017)年2月11日(土)

各自の試験日・集合時刻は別途掲示のとおり。

集合場所(二次試験(口述試験)受験者控室)

東京都文京区本郷7-3-1

東京大学本郷キャンパス(試験場案内図参照)

ア. 2月2日(木)、2月3日(金)・・・

・情報学環本館2階教室

(社会情報学、文化・人間情報学、先端表現情報学の各コース)

・情報学環福武ホール地下2階スタジオ1(総合分析情報学コースのみ)

イ. 2月11日(土)・・・情報学環本館2階教室

最寄り駅:本郷三丁目駅(東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線)

東大前駅(東京メトロ南北線)、湯島駅・根津駅(東京メトロ千代田線)

2. 注意事項

- (1) 各自指定された集合時刻を厳守すること。
- (2) 試験当日は、必ず受験票を持参すること。
- (3) 集合後は、受験者控室の担当助教の指示にしたがうこと。
- (4) 集合時刻後は、受験者各自の口述試験が終了するまで、原則として集合場所及び試験室からの中途退室は許可しない。
- (5) 不正な行為又は試験の実施を妨げる行為があった場合は、直ちに退場を命じるとともに、その後の受験は許さない。

3. 二次試験について

<社会情報学コース、文化・人間情報学コース>

(1) 二次試験は、修士論文又はそれに代わるものの審査、研究能力及び研究計画について口述試験を行い、一次試験の内容と合わせて総合的に判定する。

(2) 試験時間は、準備5分、受験者からの説明20分、質疑応答20分で各々時間厳守である。

受験者は試験開始時刻より5分間の準備時間を利用して、使用機器の準備を行うこと。なお、質疑終了後、速やかに退室すること。

<総合分析情報学コース>

(1) 二次試験内容、

ア. 受験者のうち本学府修了見込みの者

研究能力及び研究計画について口述試験を行い、修士論文審査並びに一次試験の内容と合わせて総合的に判定する。

イ. 上記ア. 以外の者

修士論文又はそれに代わるものの審査、研究能力及び研究計画について口述試験を行い、一次試験の内容と合わせて総合的に判定する。

(2) 試験時間は、準備3分、受験者からの説明17分、質疑応答15分で各々時間厳守である。

受験者は試験開始時刻より3分間の準備時間を利用して、使用機器の準備を行うこと。なお、質疑終了後、速やかに退室すること。

[【次ページに続く】](#)

3. 二次試験について(前ページからの続き)

<全コース共通事項>

- (1) 試験会場にはパソコン用のプロジェクタ及びスピーカーの用意がある。
プロジェクタ及びスピーカーは予め試験室に用意する他、集合場所(控室)にも同じ機種を用意するので、試験前にテスト使用しても構わない。
パソコンは各自準備すること。プロジェクタの接続端子は、アナログ用のVGA(D-sub 15pin)である。Apple社製のコンピュータなど特別のコネクタが必要な場合は、各自持参すること(コネクタの貸与は行わない)。ビデオを映す場合は予めパソコンに取り込む等各自準備をし、プロジェクタを使用して提示すること。なお、これらの機器を使用せず口頭で発表しても構わない。
- (2) 修士論文又はそれに代わるものは試験会場に持ち込んでよい。説明を補助するための資料の配布も認められる。審査員3名分を用意すること。
- (3) 資料の配布や機器の調整に時間がかかっても、一切、時間の延長は認めない。

4. 最終合格者の発表について

平成29(2017)年2月21日(火)14時頃情報学環本館玄関前に掲示するほか、合格者に対しては、郵送により通知するので、出願時の氏名、現住所、受信場所等に変更が生じた場合は速やかに学際情報学府学務係に届け出ること。

なお、発表と同時に情報学環ウェブページ(<http://www.iii.u-tokyo.ac.jp/>)にも掲載するが、あくまで合否確認の補助手段であり、掲示での発表及び本人宛の通知が正式である。

また、電話による合否の照会については、一切応じない。

5. その他

万一、緊急の事態が生じた場合は、学際情報学府学務係(03-5841-5904)まで連絡すること。

平成29(2017)年2月1日

※注意事項 本学府では入学試験の追試験・再試験は行っておりません。

試験場案内図(東京大学本郷キャンパス建物配置図略図)

